

大府医発54号
令和2年4月20日

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

大阪府医師会長
(新型コロナウイルス感染症対策本部長)

茂松 茂 人



新型コロナウイルス感染症患者を診療している医療機関への支援に関する要望

平素は本会事業の推進に対しまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、PCR検査の陽性率や感染経路の不明な陽性者数も急増しています。大阪府内の医療従事者は、地域で感染疑い者が急増していることも目のあたりにしており、今後、爆発的に感染が広がる可能性がある中で、適切な医療が提供できる体制の構築が大きな課題となっているなど緊迫した状況にあります。

現在、医療機関では新型コロナウイルス以外の疾病の日常診療を継続しながら、新型コロナウイルス感染対策にこれまで経験したことのない多くの資源を注入しています。

一方、中等症、重症の新型コロナウイルス感染症患者を診療する医療機関を含む全ての医療機関では、医療スタッフを守る感染防止用のフェイスシールドやN95マスクなどのPPEが不足しているために医療崩壊に直面している現状です。

つきましては、今後、益々感染が疑われる患者が一般の医療機関を受診する機会が増えることに備え、医療機関において患者さんを診るにあたり、感染防止に不可欠なものであることから、下記の物品をご提供願いたく、貴職のご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

- ・防護服、フェイスシールド：各60万枚
- ・N95マスク：100万枚